

信浄寺だより

第9号 二〇二五年一月

宗教の役割

また新しい年が始まります。2024年はあなたにとってどんな年だったでしょうか。大谷翔平選手の大活躍でしょうか。パリのオリンピックでも日本選手が活躍したと思います。皆さん個人やそれぞれの家庭でもいろいろなことがあったと思います。個人的に反省したり、新しい目標を考えることも大事なことでしょう。社会を見渡せば、日本では首相が替わり、アメリカでも大統領が替わります。その他、世界ではウクライナや中東を始めとして戦争が続いています。終わりの見えない争いです。世界中に不安が増大しています。今、戦争が起きていない国でもいろいろな社会不安が絶えません。

各国が政治に求めるものにいつも経済の安定と発展という言葉が出てきます。経済とは何でしょう。元は「**経世済民**」ということばです。その意味は、**世を^{おさ}経め(治め)民を^{すく}済う(救う)**ということです。民(国民)を救うのは、単にGDPなどの数字を挙げる

ことだけではありません。2014年に亡くなった経済学者の宇沢弘文という人が、著書の中で「医学が人間の病を癒す学問である」と述べています。本当の意味で経済を語るならば、人々のしあわせにつながらなければいけないと思います。また「人間は心があつてはじめて存在するし、心があるからこそ社会が動いていきます。」とも書かれていました。その通りだと思うのですが、このことばだけでは多くの人を導くことは難しいでしょう。

私はもうひとつ必要なことばとして「**人間の心の病を癒すのが宗教である**」と付け加えたいと思います。宗教は現代において不要だと考える人もいるでしょう。宗教から来る争いもあります。しかし本当の宗教とは争いを無くしていくもののはずです。宗教の名のもとに人々のしあわせを奪っている団体があることも事実です。でもそこだけを見聞きして判断してほしくないのです。科学の発展によつて、すべて人の心の中まで救われるのでしょうか。科学者としてあまりにも有名な、あのアインシュタインの言葉

には「科学なき宗教は目を失い 宗教なき科学は不健全である」とあります。恐怖をあおって信じ込ませるような宗教は危ないと思います。しかし科学だけ信じて突き進むことも危険であり不健全です。

私たちの仏教は、本来は釈尊が人間のこころの悩み、苦しみを取り除くにはどうするべきなのかを考えられて出来上がっているのです。人々には、多様性があるので教え（経典）の説き方も環境に合わせて違っているかもしれません。その中で、悩み、苦しみの問題を解決された人をブツダ（仏）と呼ぶのです。

あなたにとって解決の方法は何だと思えますか。その仏教の中でも、お念仏の道について深く聞いてみませんか。往生するとはその世界へ生まれることです。

もろもろの雑行をなげすめて、一心に弥陀に帰命すれば、不可思議の願力として、仏のかたより往生は治定せしめたまふ

御文章『聖人一流章』

雑行（ぞうぎょう）…阿弥陀仏の救いに依らない雑多な行
治定（じじょう）…ものごとが決定すること

不可思議の願力…人間のはからいを超えた仏の私たちに向け
られた願い

信浄寺行事予定

元旦会 一月一日 午前九時 （信浄寺本堂）

一年の始まりは、お寺への参拝から

朝九時だけではなく、いつでも参拝いただけます。

本願寺御正忌報恩講

一月九日から十六日まで

詳しい法要時間等はお尋ねください。

浄土真宗本願寺派 寂照山信浄寺